

## 「晩秋の二度上峠(2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

ほどなく二度上峠に着いた。北軽井沢と高崎市街を直接結ぶ道にもかかわらず、この道は交通量が少なく、観光シーズンでも渋滞することがない。



晴れてはいるが、非常に寒い！ここは軽井沢よりも標高が500m弱高い。計算上気温は3~4℃低いはずなのだが、実際はもっと低いことが多い。峠は風の通り道にもなっているので、体感温度はもっと低くなっているだろう。



路肩には、数日前に降った雪が残っていた。この秋、北軽井沢にはすでに2回降雪があった。麓ではすぐに融けてしまったが、やはりここは寒いのだ。

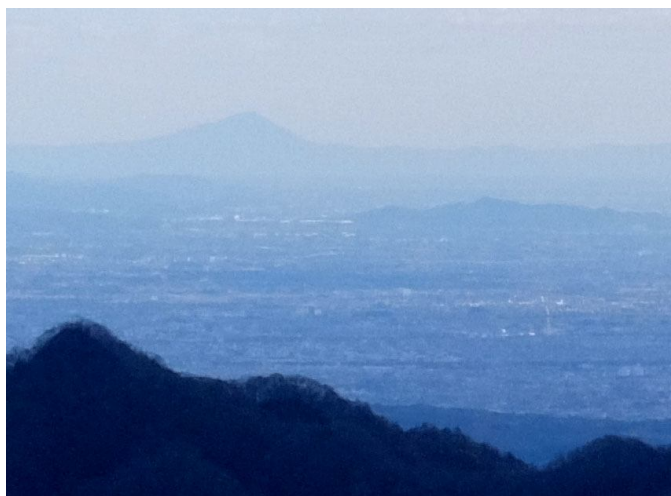
県道54号線は、全体的にカラマツの森続きで、展望が得られる場所はほとんどない。しかし二度上峠だけは例外で、関東平野方面と、浅間高原方面の両方の展望を楽しめる。しかしドライブインはない。



高崎方面から二度上峠に着くと、このように突然眼前に浅間が現れ、誰もが歓声をあげる。



逆側の高崎方面の展望。遠くに平べったく見えている山塊は、榛名火山群である。その右側に高崎市街や関東平野が見見渡せる。



この日は視程が非常に良く、筑波山まで見えた。筑波山は双耳峰であるが、この角度から見ると、二つの山頂が重なって見えるのだ。距離は正確に132.69km。その間、透明な大気以外に何もなかったということだ。